

令和 4 年度

野木沢地区自治協議会 総会



藤田城跡



小和清水



鉾石水



令和 5 年 4 月 26 日 (水)

午後 1 時 30 分

野木沢自治センター

野木沢地区自治協議会総会次第

進行：

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議長及び議事録署名人の選出

4. 議 事

議案第1号 令和4年度事業報告について

議案第2号 令和4年度決算報告について
監査報告

議案第3号 令和5年度事業計画（案）について

議案第4号 令和5年度事業収支予算書(案) について

議案第5号 役員選任（案）について

5. 新役員あいさつ

6. 閉 会

理念

野木沢地区自治協議会の理念

みんなの英知で、
住み良い豊かな、
魅力ある地域を創ろう。

目標

野木沢地区自治協議会の目標

- 1.子どもの声が響く地域
- 2.健康で生きがいを感じる地域
- 3.働き甲斐と潤いを感じる地域
- 4.共に支え合い希望と絆を感じる地域
- 5.立地条件（地域特性）を活かした地域、未来づくり

議案第1号 令和4年度事業報告について

	月 日	時間	活動内容	所属部会
1	4月5日	9時00分	野木沢駅環境整備協力会総会	総務地域づくり部会
2	4月6日	18時30分	野木沢自治センター企画推進会議	総務地域づくり部会
3	4月8日	18時30分	野木沢地区自治協議会理事会	総務地域づくり部会
4	4月13日	18時00分	ミニデいのぎさわの会役員会	福祉部会
5	4月14日	9時30分	1層・2層定例会議	福祉部会
6	5月9日	15時00分	野小っ子開所式	教育学習部会
7	5月10日	9時00分	前期パソコン教室参加募集案内資料作成	総務地域づくり部会
8	5月17日	19時00分	野木沢地区芸能祭実行委員会	総務地域づくり部会
9	5月29日	6時00分	イチジク畑草刈り、学校田草刈り	総務地域づくり部会
10	6月7日	13時00分	1層・2層定例会議	福祉部会
11	6月8日	19時00分	U50まちづくり集会事業第1回ワークショップ	総務地域づくり部会
12	6月16日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
13	6月21日	8時30分	野木沢地区サマー書展看板設置	教育学習部会
14	6月23日	9時30分	野木沢自治センター消防訓練	安全安心部会
15	6月23日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
16	6月26日	13時00分	防災講演会参加	安全安心部会
17	6月30日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
18	7月1日	9時00分	サマー書展開催準備	教育学習部会
19	7月3日	14時00分	サマー書展片付け	教育学習部会
20	7月6日	6時00分	まちづくり委員会イチジク草刈り作業	総務地域づくり部会
21	7月7日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
22	7月8日	19時00分	U50まちづくり集会事業第2回ワークショップ	総務地域づくり部会
23	7月19日	17時15分	安全安心部会会議	安全安心部会
24	7月24日	9時30分	移動研修準備(7/24)ミニ尾瀬	総務地域づくり部会
25	7月29日	8時30分	福祉部会会議	福祉部会
26	8月2日	17時15分	敬老会実行委員会	福祉部会
27	8月3日	8時30分	野木沢駅環境整備連絡及び準備	総務地域づくり部会
28	8月5日	17時15分	福祉ネットワーク会議	福祉部会
29	8月6日	6時00分	野木沢駅環境整備	福祉部会
30	8月8日	6時00分	まちづくり委員会イチジク防除作業	総務地域づくり部会
31	8月17日	17時15分	野木沢地区秋の交通安全・防犯運動鼓笛パレード団	安全安心部会
32	8月23日	13時00分	1層・2層定例会議	福祉部会
33	9月1日	19時00分	標語コンクール審査会	安全安心部会
34	9月9日	8時30分	敬総会記念品配布準備及び配布	福祉部会

	月 日	時間	活動内容	所属部会
35	9月13日	8時30分	文化祭実行委員会資料作成及び会議	総務地域づくり部会
36	9月15日	10時30分	自治センター消防訓練	安全安心部会
37	9月15日	13時00分	敬老会記念品配布済み確認	福祉部会
38	9月22日	17時15分	福祉部会、総務地域づくり部会	総務地域づくり部会 福祉部会
39	10月17日	19時00分	U50まちづくり集会事業第3回ワークショップ	総務地域づくり部会
40	10月20日	18時30分	野木沢文化祭会場レイアウト打合せ会議	総務地域づくり部会
41	10月21日	13時00分	1層・2層定例会議	福祉部会
42	10月28日	8時30分	野木沢小学校体育館(文化祭の準備作業)	総務地域づくり部会
43	10月28日	14時00分	野木沢小学校体育館(文化祭の展示作業)	総務地域づくり部会
44	10月29日	8時00分	野木沢地区文化祭(29～30日)	総務地域づくり部会
45	10月31日	8時30分	野木沢小学校体育館文化祭後片付け(センターへ)	総務地域づくり部会
46	11月1日	8時30分	文化祭後片付け	総務地域づくり部会
47	11月2日	8時30分	自治センターグラウンド整備	総務地域づくり部会
48	11月9日	17時15分	書初め関係者会議	教育学習部会
49	11月15日	17時15分	教育学習部会議	教育学習部会
50	11月16日	18時00分	町議事務長意見交換会	総務地域づくり部会
51	11月17日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
52	11月17日	9時30分	1層・2層定例会議	福祉部会
53	11月19日	8時30分	まちづくり委員会ふれあいバザー	総務地域づくり部会
54	11月24日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
55	12月1日	17時15分	パソコン教室	教育学習部会
56	12月3日	6時30分	駅環境整備早朝草刈り	総務地域づくり部会
57	12月22日	13時00分	1層・2層定例会議	福祉部会
58	12月24日	8時30分	書初め練習日(野小っ子教室)	教育学習部会
59	1月5日	8時30分	書初め大会	教育学習部会
60	1月13日	8時30分	書初め展(15～22日)	教育学習部会
61	1月18日	9時30分	1層・2層定例会議	福祉部会
62	1月22日	17時50分	書き初め展片付け	教育学習部会
63	1月24日	8時30分	モノづくり教室開講	教育学習部会
64	1月26日	19時00分	U50まちづくり集会事業第4回ワークショップ	総務地域づくり部会
65	1月27日	17時15分	まちづくり委員会役員会	総務地域づくり部会
66	2月2日	17時15分	のぎさわの会役員会	福祉部会
67	2月14日	8時30分	ものづくり教室	教育学習部会
68	2月17日	17時15分	各種団体行事日程調整会議	総務地域づくり部会
69	3月3日	17時15分	のぎさわの会役員会	福祉部会
70	3月10日	17時15分	企画推進委員会	総務地域づくり部会

	月 日	時間	活動内容	所属部会
71	3月11日	17時15分	安全安心部会野木沢分会総会	安全安心部会野木沢分会総会
72	3月20日	15時00分	野小っ子クラブ閉所式	教育学習部会
73	3月24日	8時30分	まちづくり委員会イチジク植栽作業	総務地域づくり部会
74	3月30日	8時30分	まちづくり委員会総会	総務地域づくり部会

令和 4 年度 野木沢地区自治協議会事業実績報告書

野木沢自治センター

No.	事業名	学習目的 (PLAN)	学習内容 (DO)	事業期間 及び回数	参加 人数	反省：評価（５段階） (CHECK) (ACT)	
1	のぎさわこども広場	子供たちが参加し易く、自然の仕組みを科学し、他人を思いやる心を養い、地域の人々に支えられている事を自覚し感謝する心を養う。	書初め等 防犯交通安全パレード等 放課後児童支援事業（野小っ子） 野木沢小学校希望ヶ丘環境整備	12月～1月 9月 4月～3月 7月	27 2895 4	地区青少協、地域子ども育成会の自主活動を側面から支援し、各施策に於いて参加者児童27名参加した。 交通安全パレードは参加団体や学校関係者との調整を図った結果、コロナウイルス対策が困難なため中止となった。 野小っ子クラブに遊具支援 野小っ子クラブ（センター事務局）一日平均預かり児童18名。 見守りボランティアの方が少ない状態になっている。これらについては、地域に協力を願っていく。 野木沢小学校希望ヶ丘環境整備を7/28自治協議会長中心に残材畑の草刈り等（モア）を行った。	4
2	手づくり教室インのぎさわ	男女共同参画型社会の実践と個人の持ち味を生かした自己研鑽に寄与し、各事業を自主的企画運営方式で進めながら、住み良い地域づくりを促進する事業を行う。	料理教室 ※文化財等を求めている移動研修1回 趣味、芸術、文化講座 ものづくり移動教室	5月～3月 4月～2月		料理教室は、毎月の定例会を開催できなかった。又伝統的食の事業を推進する地域の視察研修も中止とした。 ものづくり体験移動教室も、毎年文化祭に向けた手ひねりに取り組んできたが感染拡大防止を考慮し中止とした。	4

			行灯づくり教室 「クリスタルアロハ」 「太極拳教室」	1月～2月 4月～3月 4月～3月	9 243 65	ものづくり教室（行灯づくり）開催することが出来た。伝統を守る教室を開催できた。クリスタルアロハ、太極拳は、各種イベント等へ参加してきたが今年は、感染拡大防止を考慮し出来なかった。	
3	地区公民館活動育成事業	各地区公民館の自主的な運営活動を支援し、生涯学習の推進を図る 各地区の団体活動の統廃合も検討	3地区公民館の活動を支援、各運営事業運営の支援。	5月～2月		地域公民館活動感染拡大防止を考慮し活動自体自粛したためその事業自体に応援できなかった。塩沢地区公民館 R5.3月をもって解散することとなった。	
4	高齢者生涯事業の推進	自らの生きがいを高め健康づくりと、ボランティア活動並びに会員相互の親睦を深めると共に、地域に貢献できるよう努める。 心身ともに健康で、活動を通じ終目標は「健康長寿」増進に繋げる。 自らが心身ともに健康な社会生活を送るため、高齢者の生きがいづくりを推進する。 また、活動を推進するため長寿会組織強化と会員増加を支援する。	地域長寿会事業への支援 春秋ゲートボール大会、春秋グラウンドゴルフ大会、ミニディサービス事業への支援 介護予防事業の出前講座 （保健センターと共同）で健康講座 地区各種団体と協力し草花植栽等の地域美化等の運動の支援 長寿会事業・活動の推進と協力支援	5～11月 同上 7、8月 8/5 6月	529 19 25 12	長寿会活動の自主性を育成し、学習活動、健康づくり活動、仲間づくり活動及び各事業を支援した。 ミニディサービス事業は中止 野木沢地域福祉ネットワークは、8/5開催できた。 地域の公共施設、通学路、道路沿道に花壇を作り植栽することができた。 長寿会のセンターも協力し事業の遂行に協力できた。	4
5	野木沢地区文化祭	・地区民の芸術文化作品等を一堂に展示し、地域ぐるみで芸術文化に対して相互理解を深める。 野木沢小学校児童との連携 まちづくり委員会との連携	山野草展、さつき展、書初め展の開催 地区文化祭は野小屋体を会場に手芸、各長寿会等の作品、作品展示	10/29～30	205	長寿会、遊墨会、山野草、盆栽展、サークルひまわり、展覧会実施。 今年は地区文化祭は単独で行った。 地区文化祭同時開催、野小フェスティバル（児童の発表会）、町づくり委員会とのコラボは中止となった。	4

6	のぎさわ地区芸能祭	日頃の練習の成果の発表、参加者相互の交流と地区民の親睦を深め販売コーナーを設けるなど地域の活性化を図る。	各種団体、サークル等発表会 農作物の販売を予定した。 子どもコーナーを設置（うさぎ）予定した。	7月3日		8年目となる地区芸能祭は、感染拡大防止を考慮し今年も中止とした。	—
7	野木沢地区まちづくり委員会との連携 集いの場づくり	・委員会及び各部会と連携し地域活性化に取り組み協働の地域づくり、まちづくりを推進する。 コモドカフェオープン R3.6	特産品部会ふじわちゃん地区特産品の試作、各イベントでの販売 のぎさわときめき交流祭参加 ほか 特産品部会コモドカフェ	4月～3月 11月 6月～3月	900	野木沢加工場ふじわちゃんは、感染拡大防止を考慮し各イベントでの販売は参加しなかった。 文化祭とのコラボレーションは出来なかった。 野木沢駅前にオープンし地区の集いの場になっている。	4
8	野木沢自治センター（企画推進委員会）	・センター事業の基本組織となり地域づくり事業と推進する。	・センター企画・立案・実践 効果の確認 ・センター事業の計画実施 ・各種団体の連絡調整	通年	40	企画推進委員会は計画、その実践大いに企画・立案したが新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し計画を大幅に縮小することとなった。	4
9	センターだよりの発行	センター事業を広く地区民へ紹介し、地域情報を提供するとともに事業の周知を図る。	毎月1日に発行	通年	12回	毎月発行できた。	4
10	オータムフェスタ参加	まちづくり委員会等と協力し野木沢地区を広く周知に努める。	中止	年1回	中止	イベント中止	
11	地域各種団体への支援	交通安全協会 母の会 青少年健全育成推進協議会野木沢地区協議会 保健協力委員会	・交通安全総ぐるみ運動外 ・防犯交通安全パレード等 ・青少協、 各区子ども育成会事業の支援他 ・ミニディサービスの参加、実施など			交通安全パレード感染拡大防止を考慮し中止 青少協、地域子ども育成会の自主活動を側面から支援した。 ミニディのぎさわの会は、一度も開催出来なかった。	4

		防犯協会 野木沢地域福祉ネットワーク事業 各種団体行事日程調整会議	夏季防犯巡回運動、野木沢地区交通安全・防犯標語コンクールの参画、その他安全安心に資する事業の支援 ・支援体制を構築、事件・事故の未然防止事業の展開、 ・各団体活動の相互理解と協力を図り、各団体の活動が重複しないように日程調整を図る	2月	44 75 19 18	防犯巡回運動R4.7.20～8.31 まで週2回行った。火災・防犯・交通安全標語コンクールも行った。 2022/8/5 野木沢地域福祉ネットワーク事業推進会議開催した。出席者 19 名参加。 R4.8 月に野木沢地域福祉ネットワーク事業推進パンフレットの同覧 概ねの行事及び活動日程は、各団体の計画に合わせ調整できた。	
12	野木沢地区自治協議会	地区の歴史・伝統を大切にし、豊かな自然環境を生かし住民相互理解を深め・協力し地域の将来像を描き、その実現に向け魅力ある地域づくりを構築するための組織づくりを推進する。	協議会組織づくり等の具体的推進体制確立と住民総意の高揚を図る。 目標の策定と事業評価	各部会2回	130	野木沢地区自治協議会では各部会、協議を重ね計画策定及びそれらの事業に取り組んだ。	4
13	地区敬老会	・地域社会に貢献されてきた高齢者を敬愛し、高齢者福祉に関心と理解を深める契機とする。	・敬老会実行委員会 ・敬老対象者の招待 ・式典、祝宴及びアトラクション（式典はなし、記念品配布）	8月 9月	22 395	敬老会実行委員会8月2日開催できた。 今年は、式典は中止し記念品配布、民生児童委員及び区役員により各記念品を敬老者全員に配布できた。（395名に配布） 記念品配布後頂いていないとの問題発生したため次年度は、配布の方法について検討が必要	4
14	自治センター 利用団体・サークル等の育成 強化	芸術・文化・健康づくり・ボランティア アグループ等々の自主的団体を支援し 会員相互の親睦と交流を深め、地域社	▼中野長寿会グラウンドゴルフ：毎週月曜日、水曜日午前8：30～ ▼中野長寿会カラオケ教室：毎週木曜日		372 109	それぞれの団体、サークルが感染拡大防止を考慮しながら自主的活動を行い、社会教育事業や社会体育事業等の生涯学習活動拠点となっている。	4

		会活動参加を助長する。	午前 8 : 30 ~ ▼野木沢グラウンドゴルフ愛好会：毎週 火曜日、木曜日、金曜日午前 9 時～ ▼琴桜会：毎週金曜日午前 9 : 00～ ▼3 B 体操教室：第 1・第 2 水曜日午後 7 : 00～ ▼中野いきいき運動サロン：毎月第 2、 第 4 金曜日午前 9 : 30～ ▼ひばりカラオケ愛好会：毎週金曜日午 後 1 : 30～ ▼野木沢太極拳教室：毎週木曜日午後 7 : 00～ ▼料理教室：毎月第 2 火曜日料理教室事 前会議午後 7 : 00 ▼書き方教室：毎月第 2、第 4 木曜日午 後 7 : 00～ ▼クリスタルアロハ：毎月第 2、第 4 水 曜日午後 6 : 00～		640 382 134 76 91 165 87 243		
--	--	-------------	--	--	--	--	--

			▼菊地章夫カラオケ教室：毎月第 2・第 4 火曜日午後 7：00～ ▼サークルひまわり：毎週月曜日午後 7：00～ ▼野木沢加工所：毎月第 1 土曜日午後 7：00～ ▼生花教室：毎月第 2 木曜日午前 10：00～ ▼健康マージャン教室：第 1・第 3 火曜日午後 1：00～ ▼野木沢スポーツ少年団：毎週土・日午前 8：30～		81 116 116 120 247 1920		
15	自治センター施設環境整備	施設の整理整頓及び周辺環境の整備を各種団体と協力し内外周辺の美化に努める。	施設の整理整頓 施設周辺の美化 グラウンドの整地及び周辺整備	通年	1700	スポ小、長寿会、愛好会等がグラウンドの石拾いや整備を行った。	5

16	地区防災訓練の実施	地震、火災、自然災害など不慮の災害 に備え命を守る訓練を行うことを目的	野木沢地区自治協議会 安全安心部会	通年	59	野木沢自治センターグラウンドにおいて訓練を行った。 来る災害に対応するため地区自主防災会で 「自分たちの地域は自分たちで守るため」3 地区合同の防災（水防）訓練を行った。	5
----	-----------	--	-------------------	----	----	--	---

令和4年度 野木沢自治センター事業収支決算書

【収入】

(単位；円)

区分	収入額 (円)	内 訳
地域自治活動交付金	770,000	事務費200,000 企画推進委員会120,000 生涯学習300,000 部会加算150,000
繰越金	87,420	前年度繰越金
雑入	230,504	3区助成金65,000円、安協助成金30,000円、運動会協力金30,000円 野木沢駅環境補助18,000円 受取利息21円、パソコン教室テキスト代として1,000円×9名 パソコン教室テキスト代として1,000円×9名、及び印刷代金46,983円、自主防災マップ印刷18,000円、グラウンド整備燃料代4,500円
合計	1,087,924	

【支出】

(単位；円)

事業名		決算額（円）	内 訳
事業費	事 務 費	202,679	印刷機リース料、インク、マスター、コピーカウン ター料
	報 償 費	140,000	企画推進委員手当120,000円 モノづくり教室講師料 20,000円
	消 耗 品 費	168,830	消毒アルコール ラベルシート 封筒 ファイル コピー用 紙 ペーパータオル
	食 糧 費	32,774	茶菓代 来客用(お茶、コーヒー) 来客用インサート カップ
	備 品 費	36,960	ブルーレイデッキ 石油ファンヒーター
	委 託 費	0	
	借 り 上 げ 料	10,000	自治センターグラウンド整備ローダー代
	図 書 購 入 費	71,525	新聞購読料（夕刊、町民）SDGS講座教本代 officeソ フト代
	通 信 費	47,754	会議通知(招集通知) 郵便切手、はがき
	各 所 修 繕 費	12,830	調理室湯沸かし器修理、物置鍵修理他
	事 業 運 営 費	261,675	パソコン教室教材代、サマー書展案内看板材料代、文 化祭用品、モノづくり教室材料代
合計		985,027	

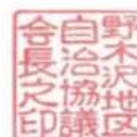
収入金額 1,087,924円 -支出金額 985,027円 =差引残額102,897円

差引残額 102,897円 は、次年度へ繰り越し致します。

上記のとおり報告いたします。

令和5年4月26日

野木沢地区自治協議会
会長 円谷和司



会計監査結果報告書

下記のとおり会計監査を実施したので、報告します。

1. 監査実施日時 令和5年4月4日(火) 午前9:00時から
2. 監査実施場所 野木沢自治センター会議室
3. 監査事項 令和4年度 野木沢地区自治協議会会計決算書
4. 監査意見 金銭出納簿、預金通帳、領収書綴等の関係諸帳簿について監査を実施
したところ、いずれも適正に処理されていることを確認しました。

令和5年4月26日

監事	二 祐光正	
監事	相楽 勝美	
監事	由 山喜巳	

令和4年度 敬老会事業収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	収入額 (円)	内 訳
地域自治活動交付金	325,000	石川町より
雑入	9,007	自治協議会会計より不足金充当
繰越金	96,593	前年度より
合計	430,600	

【支出】

(単位：円)

事業名	区分	決算額 (円)	内 訳
敬老会費	消 耗 品 費	0	
	食 糧 費	5,600	敬老会実行委員会茶菓代
	借 上 げ 料	30,000	敬老会記念品配布借り上げ料2,000円×15名
	通 信 費	0	
	事 業 運 営 費	395,000	敬老者祝い品1,000円×395名
合計		430,600	

収入金額 430,600円 - 支出金額 430,600円 = 差引残額 -0円

= 差引残額 -0円 は、次年度へ繰り越し致します。

令和5年4月26日

野木沢地区自治協議会

会 長 円谷和司



会計監査結果報告書

下記のとおり会計監査を実施したので、報告します。

1. 監査実施日時 令和5年4月4日(火) 午前9:00時から
2. 監査実施場所 野木沢自治センター会議室
3. 監査事項 令和4年度 敬老会事業収支決算書
4. 監査意見 金銭出納簿、預金通帳、領収書綴等の関係諸帳簿について監査を実施
したところ、いずれも適正に処理されていることを確認しました。

令和5年4月26日

監事 二 翔 光 正



監事 羽 楽 勝 美



監事 油 山 喜 己



令和4年度 まちづくり委員会事業収支決算書

【収入】

(単位：円)

区分	予算額（円）	収入額（円）	増減	内 訳
事業収入		1,969,543	△ 1,969,543	地域創生総合支援事業（野木沢駅前活性化事業）県補助金1,745,000円、イチジク売上金224,543円としてイチジク売上金として
地域自治活動交付金	1,280,000	1,280,000	0	まちづくり交付金1,200,000円 小和清
繰越金	429,405	429,405	0	前年度繰越金
雑収入		192,000		須賀川農業普及所助成金
合計	1,709,405	3,870,948	△ 2,161,543	

【支出】

(単位：円)

事業名	区分	予算額（円）	決算額（円）	増減	内 訳
会議費	計	94,000	20,000	74,000	
	全体会（理事会、総会）	24,000	0	24,000	
	各部会費	5,000	0	5,000	
	U50まちづくり集会事業	60,000	20,000	40,000	U-50まちづくり委員会イベント協力費
	人材バンク登録	5,000	0	5,000	
イチジク生産事業費	計	350,000	311,499	38,501	
	イチジク管理費	160,000	261,499	△ 101,499	イチジク消毒剤、フレールモア一代、肥料代、草刈り作業代、燃料代他
	作業員手当（販売支援含）	140,000	0	140,000	
	畑借地代	50,000	50,000	0	イチジク畑借地料代
交流事業	計	150,000	0	150,000	
	のぎさわときめき交流祭事業費	150,000	0	150,000	
野部会事業	計	120,000	120,000	0	
	藤田城址整備事業	50,000	50,000	0	藤田城整備事業代
	野木沢駅活性化事業（イルミネーション）	70,000	70,000	0	イルミネーション設置及び撤去作業代
小和清水部会事業	計	150,000	145,000	5,000	
	小和清水周辺整備事業	70,000	65,000	5,000	小和清水整備藤棚選定、プランター代として
	小和清水管理	80,000	80,000	0	小和清水借地代及び管理費代

事業名	区分	予算額（円）	決算額（円）	増減	内 訳
農林部会事業	計	110,000	107,700	2,300	
	鉱石水周辺整備事業	68,000	56,700	11,300	草刈（機械代燃料代）剪定代 水質検査料 消毒代
	禰山遊歩道整備事業	42,000	51,000	△ 9,000	草刈り機械借上げ作業委託代
報発信事	計	50,000	43,960	6,040	
	インターネット整備費	50,000	43,960	6,040	インターネットプロバイダー料（ジャストシステム）
農産品部会事業	計	350,000	2,486,033	△ 2,136,033	
	加工所賃借料	100,000	100,880	△ 880	ふじわちゃん、コモド店舗賃料
	加工所光熱水道費	150,000	0	150,000	
	特産品開発	100,000	2,385,153	△ 2,285,153	イベント用品、コモドカフェチラシ代、コモドカフェ材料費
子育て支援事業	計	335,000	244,442	90,558	
	野小っ子クラブ	220,000	135,639	84,361	ホッペンアイン体験代、夏休み体験学習講師旅費、野小っ子クラブ謝金、書道指導料
	育成会 3年生送る会	75,000	68,603	6,397	3年生送る会（図書カード）、育成会クリスマス会
	学校支援事業	40,000	40,200	△ 200	モア一、防除機、人扶代
予備費		405	12,116	△ 11,711	
合計		1,709,405	3,490,750	△ 1,781,345	

収入金額3,870,948円 - 支出金額 3,490,750円 - 差引残額380,198円

差引残額380,198円 は、次年度へ繰り越し致します。

令和5年4月26日

まちづくり委員会

委員長 近 内 光 慶



会計監査結果報告書

下記のとおり会計監査を実施したので、報告します。

1. 監査実施日時 令和5年4月4日(火) 午前9:00時から
2. 監査実施場所 野木沢自治センター会議室
3. 監査事項 令和4年度 まちづくり委員会事業収支決算書
4. 監査意見 金銭出納簿、預金通帳、領収書綴等の関係諸帳簿について監査を実施
したところ、いずれも適正に処理されていることを確認しました。

令和5年4月26日

監事 二 新 光 正



監事 相 楽 勝 美



監事 油 山 喜 巳



令和5年 月 日

石川町長 塩田金次郎 様

申請者 団体名 野木沢地区自治協議会
 代表者氏名 会長 円谷和司 印

地域自治活動交付金繰越協議書

令和4年度において、交付を受けた地域自治活動交付金を令和4年に繰り越したい
 ので、石川町地域自治活動交付金要綱第8条の規定により、下記のとおり協議します。

記

1 繰越協議額 0 円

2 繰越内容

単位:円

事業名及び内容	交付額	その他収入額	決算額	繰越額	
生涯学習費(事務費含む)	770,000		985,027	-215,027	
敬老会費	325,000		430,600	-105,600	
町づくり事業	1,280,000		1,490,750	-210,750	
県サポート補助金				-255,000	-255,000
前年度繰越金(センター)		-117,726	0	-117,726	-332,753
前年度繰越金(敬老会費)		96,593	0	96,593	-9,007
前年度繰越金(まちづくり)		64,708	0	64,708	-146,042
合計	2,375,000	43,575	2,906,377	-487,802	-742,802

3 繰越理由

翌年度の事業費として繰越ししたいため。

令和 5 年度

自治センター事業計画書

令和5年度

野木沢地区自治協議会事業計画

運営方針と努力目標

◎ 運営方針

急速な変革を遂げる現代社会の中で時代に即応した「地域づくり、人づくり、物づくり」に対応するため、自治センターが地域の社会教育・生涯学習の場として、地区民のだれもが、何時でも学び、ものづくりや各種事業・研修等ができる地域のより所（茶の間）としての自治センター運営に努める。

◎ 努力目標

1. 社会教育の充実

- ①男女共同参画社会の実現や高齢化社会への対応など、現代的課題について各種学級、講座や研修を通して、広く社会教育の重要性について意識の高揚を図り、指導者やリーダーの育成にも努める。
- ②社会教育関係団体や各種サークル・自主的団体の育成、支援に努め、ボランティア活動を含めた、地区民自らが実践する社会参加活動の推進を図る。
- ③現代社会のかかえる課題に積極的に取り組み、社会に即応できる地域住民の育成に努める。
- ④世代間の交流の場や機会の提供に努める。
- ⑤余暇利用と趣味・健康で豊かな人間性の育成に努める。
- ⑥スポーツ活動を通し心身共に健康で仲間づくりができるよう支援活動に努める。

2. 青少年教育

- ①心身ともに健全な青少年を育成するため環境の整備を図り、家庭・地域・学校との連携に努める。
- ②青少年が地域の諸行事に積極的に参加し、地域文化の伝承、発展に寄与できるよう努める。
- ③子どもたちが多様な体験活動、ボランティア活動を通し豊かな情操、知識を身につけることを推進する。
- ④健全な青少年を育成するため、各種団体等の連携を図り、各種研修会や講座の実践に努める。

3. 女性社会参加環境づくり

- ①各種サークル等のグループの育成と事業等の育成に努める。
- ②男女共同参画社会の中で女性としての社会参加や地位の向上に努める。

4. 高齢者教育

- ①健康維持、増進のために年齢、体力に適した研修とスポーツ活動の継続的な推進に努める。
- ②高齢者団体活動などでの仲間づくり事業を推進し、高齢者相互の交流を図る。

5. 文化活動

- ①優れた芸術・文化に接する機会に努め、自らが活動する場の拡大推進を図る。
- ②既存団体育成と活動の積極的な推進に努める。

6. 文化財の保護と活用

- ①地域の伝承文化や文化財を理解し保護活用を図る。

7. 社会体育

- ①各年齢層に合ったスポーツ活動の拡充に努め、健康の維持増進、仲間づくりを積極的に図る。
- ②指導者養成に努める。

8. 広報活動

- ①センターだよりを定期的に発行し、活動内容や事業等を地区民に広く周知し、理解と協力のもと各種事業活動等への積極的な参加と地域意識の向上に努める。
- ②各種団体の活動内容を紹介し、団体の育成と生涯学習活動の啓発に努める。
- ③まちづくり委員会等との連携をはかり広報活動をとおり地域活性化に努める。
- ④野木沢地区自治協議会ホームページを常に更新し地域活動及び地域事業を広く紹介していく。

9. 社会教育団体等との連携

- ①各種団体（愛好会・サークル等）及び各地区公民館と連携を図り、各種団体の育成と自主活動の推進に努める。
- ②各種団体の事業日程が重複しないよう日程調整会議を開き、地区内の行事等の調整を図る。

10. 自治センター環境整備

- ①いつでも気持ちよく使用できるよう施設内外の環境の整備に努める。
- ②利用者に「来たときよりも美しく」の気持ちで使用していただき、公共施設としての環境美化に相互理解を得ながら整備に努める。

11. 地域協働の地域自治協議会の促進

- ①令和5年度において長期的展望に立ち確立した中長期野木沢地区の計画（デザイン）を作成し押し進めていく。
- ②人口減少に即応した地域づくりの礎となるべく計画とその財源確保に努める。
- ③野木沢地区自治協議会ボランティア人材バンクの登録と野木沢地区ネットワークを確立し安心して暮らせる地域づくりを行う。
- ④未来を託す子供たちに地域全体で取り組み子育ての環境の充実を図っていく。
 - ・野小っ子の財源の確保も行っていく。
- ⑤自治協議会のより良い運営ができるように務める。
- ⑥まちづくり交付金は、地域に融合し未来展望型を鑑み効果を検証しながら交付金を活用していく。

令和 5 年度事業計画

野木沢自治センター

No.	事業名	学習目的 (PLAN)	学習内容 (DO)	事業期間 及び回数	参加 人数	反省：評価（5段階） (CHECK) (ACT)	
1	のぎさわこども広場	子供たちが参加し易く、自然の仕組みを科学し、他人を思いやる心を養い、地域の人々に支えられている事を自覚し感謝する心を養う。	書初め等 防犯交通安全パレード等 放課後児童支援事業（野小っ子）	12月～1月 9月 4月～3月			
2	手づくり教室インのぎさわ	男女共同参画型社会の実践と個人の持ち味を生かした自己研鑽に寄与し、各事業を自主的企画運営方式で進めながら、住み良い地域づくりを促進する事業を行う。	料理教室 ※文化財等を求めている移動研修1回 趣味、芸術、文化講座 ものづくり移動教室 行灯、門松づくり 「クリスタルアロハ」 「太極拳教室」	5月～3月 4月～2月 12月 4月～3月 4月～3月			
3	地区公民館活動育成事業	各地区公民館の自主的な運営活動を支援し、生涯学習の推進を図る 各地区の団体活動の統廃合も検討	3地区公民館の活動を支援、 各運営事業運営の支援。	5月～2月			
4	高齢者生涯事業の推進	自らの生きがいを高め健康づくりと、ボランティア活動並びに会員相互の親睦を深めると共に、地域に貢献できるよう努める。 心身ともに健康で、活動を通じ終目標は「健康長寿」増進に繋げる。	地域長寿会事業への支援 春秋ゲートボール大会、 春秋グラウンドゴルフ大会、 ミニディサービス事業への支援 介護予防事業の出前講座 （保健センターと共同）で健康講座	5～11月 同上 7、8月 8/4			

		自らが心身ともに健康な社会生活を送るため、高齢者の生きがいをづくりを推進する。 また、活動を推進するため長寿会組織強化と会員増加を支援する。 健康な体やこころを維持するための適度な運動の居場所づくりを行う 地域の文化財 要所探索等を計画し地区の方々の参加募集をする。 新型コロナウイルスに負けないための健康づくり	地区各種団体と協力し草花植栽等の地域美化等の運動の支援 長寿会事業・活動の推進と協力支援 健康体操の新規教室の参加者募集を図ってみる 地区内史跡巡りのウォーキングの参加者募集を図る 体力づくり（尾瀬ヶ原）探索等を計画し地区の方々の参加募集をする。	通年			
5	野木沢地区文化祭	・地区民の芸術文化作品等を一堂に展示し、地域ぐるみで芸術文化に対して相互理解を深める。 野木沢小学校児童との連携 まちづくり委員会との連携	山野草展、さつき展、書初め展の開催 地区文化祭は野小屋体を会場に手芸、各長寿会等の作品、作品展示	10/28～29			
6	のぎさわ地区芸能祭	日頃の練習の成果の発表、参加者相互の交流と地区民の親睦を深め販売コーナーを設けるなど地域の活性化を図る。	各種団体、サークル等発表会 農作物の販売を予定した。 子どもコーナーを設置（うさぎ）予定した。	7月2日			
7	野木沢地区まちづくり委員会との連携 集いの場づくり	・委員会及び各部会と連携し地域活性化に取り組み協働の地域づくり、まちづくりを推進する。 コモドカフェオープン R3.6	特産品部会ふじわちゃん地区特産品の試作、各イベントでの販売 のぎさわときめき交流祭参加 ほか 特産品部会コモドカフェ	4月～3月 11月 4月～3月			
8	野木沢自治センター（企画推進委員会）	・センター事業の基本組織となり地域づくり事業と推進する。	・センター企画・立案・実践 効果の確認				

			・センター事業の計画実施 ・各種団体の連絡調整	通年			
9	センターだよりの発行	センター事業を広く地区民へ紹介し、地域情報を提供するとともに事業の周知を図る。	毎月 1 日に発行	通年			
10	オータムフェスタ参加	まちづくり委員会等と協力し野木沢地区を広く周知に努める。	中止	年 1 回			
11	地域各種団体への支援	交通安全協会 母の会 青少年健全育成推進協議会野木沢地区協議会 保健協力委員会 防犯協会 野木沢地域福祉ネットワーク事業 各種団体行事日程調整会議	・交通安全総ぐるみ運動外 ・防犯交通安全パレード等 ・青少協、 各区子ども育成会事業の支援他 ・ミニディサービスの参加、実施など 夏季防犯巡回運動、野木沢地区交通安全・防犯標語コンクールの参画、その他安全安心に資する事業の支援	8 月 2 月			
12	野木沢地区自治協議会	地区の歴史・伝統を大切に、豊かな自然環境を生かし住民相互理解を深め・協力し地域の将来像を描き、その実現に向け魅力ある地域づくりを構築するための組織づくりを推進する。	協議会組織づくり等の具体的推進体制確立と住民総意の高揚を図る。 目標の策定と事業評価	各部会 2 回			

13	地区敬老会	・地域社会に貢献されてきた高齢者を敬愛し、高齢者福祉に関心と理解を深める契機とする。	・敬老対象者の招待 ・式典、祝宴及びアトラクション	9月			
14	自治センター 利用団体・サークル等の育成 強化	芸術・文化・健康づくり・ボランティア アグループ等々の自主的団体を支援し 会員相互の親睦と交流を深め、地域社会活動参加を助長する。	▼中野長寿会グラウンドゴルフ：毎週月曜日、水曜日午前8：30～ ▼中野長寿会カラオケ教室：毎週木曜日午前8：30～ ▼野木沢グラウンドゴルフ愛好会：毎週火曜日、木曜日、金曜日午前9時～ ▼琴桜会：毎週金曜日午前9：00～ ▼3B体操教室：第1・第2水曜日午後7：00～ ▼中野いきいき運動サロン：毎月第2、第4金曜日午前9：30～ ▼ひばりカラオケ愛好会：毎週金曜日午後1：30～ ▼野木沢太極拳教室：毎週木曜日午後7：00～ ▼料理教室：毎月第2火曜日料理教室事	通年			

			前会議午後 7 : 00 ▼書き方教室：毎月第 2、第 4 木曜日午後 7 : 00～ ▼クリスタルアロハ：毎月第 2、第 4 水曜日午後 6 : 00～ ▼菊地章夫カラオケ教室：毎月第 2・第 4 火曜日午後 7 : 00～ ▼サークルひまわり：毎週月曜日午後 7 : 00～ ▼野木沢加工所：毎月第 1 土曜日午後 7 : 00～ ▼生花教室：毎月第 2 木曜日午前 10 : 00～ ▼健康マージャン教室：第 1・第 3 火曜日午後 1 : 00～ ▼野木沢スポーツ少年団：毎週土・日午前 8 : 30～				
--	--	--	--	--	--	--	--

15	自治センター施設環境整備	施設の整理整頓及び周辺環境の整備を 各種団体と協力し内外周辺の美化に努 める。	施設の整理整頓 施設周辺の美化 グラウンドの整地及び周辺整備				
16	地区防災訓練の実施	地震、火災、自然災害など不慮の災害 に備え命を守る訓練を行うことを目的	野木沢地区自治協議会災害時訓練の実 施				

令和5年度 野木沢自治センター事業収支予算書(案)

【収入】

(単位；円)

区分	収入額（円）	内 訳
地域自治活動交付金	800,000	事務費200,000 企画推進委員会120,000 生涯学習300,000 部会加算150,000 野木沢駅環境整備協力会30,000円
繰越金	102,897	前年度繰越金
雑入	95,500	3区助成金65,500円、運動会協力金30,000円
合計	998,397	

【支出】

(単位；円)

事業名	予算額（円）	内 訳
事業費	事務費	160,000 印刷機リース料等
	報償費	140,000 企画推進委員手当 講師謝金等
	消耗品費	160,000 文具等事務全般に係る経費代等
	食糧費	30,000 会議時の茶菓代、各種事業のスタッフ茶菓代等
	備品費	20,000 パソコン周辺機器
	委託費	100,000 芸能祭音響、舞台トラック代等
	借り上げ料	18,000 軽トラ借り上げ、グラウンド整地燃料代等
	図書購入費	36,660 新聞購読料等
	通信費	45,000 郵便切手、はがき等
	各所修繕費	20,000 施設改修代等
	事業運営費	238,737 芸能祭、移動研修助成、フェスタ出店料 各部会費
	野木沢駅環境整備 協力費	30,000 野木沢駅環境整備協力会へ交付
合計	998,397	

収入金額998,397円 - 支出金額 998,397円 = 差引残額0円

上記のとおり提案いたします。

令和5年4月26日

野木沢地区自治協議会

会長 二瓶光正



令和5年度 敬老会事業収支予算書(案)

【収入】

(単位：円)

区分	収入額 (円)	内 訳
地域自治活動交付金	325,000	石川町より
繰越金	0	前年度繰越金
合計	325,000	

【支出】

(単位：円)

事業名	区分	予算額 (円)	内 訳
敬老会費	消耗品費		
	食糧費	200,000	賄い一式等
	借上げ料	26,000	準備トラック借り上げ料等
	通信費	2,000	郵便代
	事業運営費	97,000	下足袋、祝松謝礼、引き出物袋
合計		325,000	

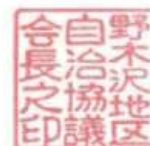
収入金額325,000円 - 支出金額 325,000円 = 差引残額0円

上記のとおり提案いたします。

令和5年4月26日

野木沢地区自治協議会

会 長 二瓶光正



議案第4号-3 令和5年度 事業収支予算書（案）について
令和5年度 まちづくり委員会事業収支予算書(案)

【収入】

(単位：円)

区分	本年度予算額	前年度決算額	増減	内 訳
事業収入		1,969,543		イチジク販売収入
地域自治活動交付金	1,280,000	1,280,000	0	まちづくり交付金1,200,000円 小 和清水管理80,000
繰越金	380,198	429,405	△ 49,207	前年度繰越金
雑収入		192,000		
合計	1,660,198	3,870,948	△ 2,210,750	

【支出】

(単位：円)

事業名	区分	本年度予算額	前年度決算額	増減	内 訳
会議費	計	103,198	20,000	83,198	
	全体会（理事会、総会）	23,198	0		全体会（理事会、総会）
	各部会費	5,000	0		各部会年2回以上会議（上・下半期）
	U50まちづくり集会事業	70,000	20,000		U50まちづくり委員会イベント協力費
	人材バンク登録	5,000	0		人材バンク登録事業
イチジク生産事業費	計	350,000	311,499	38,501	
	イチジク管理費	300,000	261,499		イチジク消毒剤、フレールモア一代、 肥料代、草刈り作業代、燃料代他
	作業員手当（販売支援 含）	0	0		
	畑借地代	50,000	50,000		イチジク畑借地料代
地区交流事業費	計	150,000	0	150,000	
	のぎさわときめき交流祭 事業費	150,000	0		のぎさわときめき交流祭・文化祭とコ ラボによる開催
中野部会事業費	計	100,000	120,000	△ 20,000	
	藤田城址整備事業	30,000	50,000		藤田城址地の整備事業
	野木沢駅活性化事業（イル ミネーション）	70,000	70,000		イルミネーション設置及び撤去作業代
曲木部会事業費	計	200,000	145,000	55,000	
	小和清水周辺整備事業	120,000	65,000		小和清水整備藤棚選定、和泉式部パン フ
	小和清水管理	80,000	80,000		小和清水借地代及び管理費代

事業名	区分	本年度予算額	前年度決算額	増減	内 訳
塩沢部会事業費	計	110,000	107,700	2,300	
	鉾石水周辺整備事業	68,000	56,700		草刈（機械代燃料代）剪定代 水質検査料 消毒代
	禿山遊歩道整備事業	42,000	51,000		草刈り機械借上げ作業委託代
情報発信事業	計	100,000	43,960	56,040	
	インターネット整備費	100,000	43,960		インターネットプロバイダー料（ジャストシステム）
特産品部会事業費	計	300,000	2,486,033	△ 2,186,033	
	特産品開発	150,000	100,880		加工所賃借料
	加工所光熱水道費		0		簡易直売所事業（加工所光熱水道費）
	特産品直売所	150,000	2,385,153		特産品開発事業（地場産品利用）
子育て支援事業	計	247,000	244,442	2,558	
	野小っ子クラブ	172,000	135,639		野小っ子クラブ事業
	育成会 3年生送る会	75,000	68,603		子ども育成会事業（中学3年生を送る会）
	学校支援事業	0	40,200		学校支援事業（希望ヶ丘整備事業）
予備費	予備費		12,116	△ 12,116	
合計		1,660,198	3,490,750	△ 1,830,552	

収入金額1,660,198円 - 支出金額 1,660,198円 - 差引残額0円

上記のとおり提案いたします。

令和5年4月26日

まちづくり委員会

委員長 近 内 光 慶



議案第 5 号 役員選任（案）について

◆役 員

役職名	氏 名	備 考
会長	二 瓶 光 正	中野地区行政区長（区長会長）
副会長	相 楽 勝 美	曲木行政区長
副会長	曲 山 喜 巳	塩沢行政区長
監事	二 瓶 義 正	中野地区行政副区長
監事	矢 吹 光 明	曲木地区行政副区長
監事	有 賀 忍	塩沢地区行政副区長
事務局	近 内 光 慶	野木沢自治センター長
事務局	二 瓶 清 正	野木沢自治センター事務長
事務局	塩 田 紀 子	野木沢自治センター事務員

◆理 事

役職等	氏 名	備 考
会長 総務地域づくり部会長	二 瓶 光 正	中野地区行政区長（区長会長）
副会長	相 楽 勝 美	曲木行政区長
副会長	曲 山 喜 巳	塩沢行政区長
安全安心部会長	矢 吹 重 光	安全協会分会長
福祉部会長	近 内 晴 美	民生児童委員方部長
教育学習部会長	二 瓶 伸 一	中野公民館館長
事務局	近 内 光 慶	野木沢自治センター長
事務局	二 瓶 清 正	野木沢自治センター事務長
事務局	塩 田 紀 子	野木沢自治センター事務員
顧問	円 谷 和 司	前行政区長会長

◆総務地域づくり部会

部会長 二瓶光正 (中野行政区長 (野木沢地区区長会長))

副部会長 志賀正敏 (自治センター企画委員長)

部会委員

相 楽 勝 美	曲木行政区長
曲 山 喜 巳	塩沢行政区長
二 瓶 義 正	中野地区行政副区長
矢 吹 光 明	曲木地区行政副区長
有 賀 忍	塩沢地区行政副区長
佐 藤 正 紀	自治センター企画委員
相 楽 美 紀	自治センター企画委員
二 瓶 光 男	自治センター企画委員
岩 崎 幸 枝	自治センター企画委員
三 瓶 勝 子	自治センター企画委員
草 野 洋 典	自治センター企画委員
矢 吹 正 道	自治センター企画委員
曲 山 正 子	自治センター企画委員
紀 陸 洋 平	自治センター企画委員
草 野 伝 明	町議会議員
近 内 雅 洋	町議会議員
曲 山 吉 徳	営農水利管理調整組合長
関 根 功	集落営農組合
吉 田 和 子	ふじわちゃん代表
近 内 光 慶	野木沢自治センター長 まちづくり委員会委員長
二 瓶 清 正	野木沢自治センター事務長
塩 田 紀 子	野木沢自治センター事務員

◆安全安心部会

部会長 矢吹重光 (安全協会分会長)

副部会長 草野 裕 (消防分団長防犯協会野木沢支部長)

部会委員

佐 藤 健 寿	消防分団第1部長
荻 野 健	消防分団第2部長
芳 賀 俊 哉	消防分団第3部長
鈴 木 千 代 子	交通安全母の会会長
有 賀 忍	防犯連絡協議会長

◆福祉部会

部会長 近内晴美（民生児童委員方部長）

副部会長 吉田和子（心配ごと相談員）

部会委員

二 瓶 匡	中野長寿会長
宗 形 兼 徳	曲木長寿会長
加 納 武 夫	塩沢長寿会長（連合会長）
草 野 和 子	更生保護女性会
近 内 光 子	保健協力委員長
二 瓶 光 正	のぎさわの会々長
近 内 光 慶	人権擁護委員

◆教育学習部会

部会長 二瓶伸一（中野公民館館長）

副部会長 二瓶清正（青少年健全育成協会会長）

部会委員

草 野 寛 喜	小学校PTA会長
永 山 昌 義	曲木公民館館長
圓 谷 量 二	中野育成会会長
宇 佐 美 知 和	曲木育成会会長
紀 陸 洋 平	塩沢育成会会長
佐 藤 真 弓	スポーツ推進委員
草 野 洋 典	スポーツ推進委員
遠 沢 幸 恵	スポーツ推進委員
円 谷 正 光	スポ少代表指導者
近 内 光 慶	野小っ子クラブ

～ × ㊦ ～

野木沢地区自治協議会規約

(目的)

第1条 本会は、野木沢地区の歴史と伝統を大切にし、豊かな自然環境を生かし、地域に暮らす住民がお互い知恵を出し合い、協力し合い、住民自らが魅力あふれる元気な地域づくりに資することを目的とする。

(名称並びに事務所)

第2条 本会は、野木沢地区自治協議会(以下「協議会」という)と称し、事務所を野木沢自治センターに置く。

(事業)

第3条 協議会は、第1条の目的を達成するため次の各号の事業を行う。

- (1) 地域の特性を生かし、地域の課題を解消するために行う事業に関する事。
- (2) まちづくりに関すること。
- (3) 交通安全、防犯、防災に関する事。
- (4) 地域住民の健康と福祉の増進及び子育て支援に関する事。
- (5) 文化、教養の向上に関する事。
- (6) 生涯学習に関する事。
- (7) 児童及び青少年の育成に関する事。
- (8) 自治センター運営に関する事。
- (9) その他、協議会の目的達成のために必要な事。

(構成)

第4条 協議会は、次の各号に掲げるものをもって構成する。

- (1) 野木沢地区に居住する住民。
- (2) 野木沢地区で活動する法人及び各種団体。
- (3) その他、協議会が認めた者。

(役員)

第5条 協議会には、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 監 事 3名

(顧問)

第6条 協議会に顧問を置くことができる。

(役員を選任)

第7条 会長は区長会長、副会長は区長会長以外の区長が務めることとし、総会の承認を経て決定する。

2 顧問は、理事会で選任する。

(役員の任務)

第8条 役員は次のとおりとする。

- (1) 会長は、協議会を代表し会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長が事故その他やむをえない事情により

職務を遂行できないときは、会長が予め指名した順序によってその職務を代行する。

(3) 監事は、会計及び事業の監査に充たる。

(役員の任期)

第9条 役員、理事の任期は1年とする。ただし、再任は妨げない。

2 補欠役員の任期は、前任者の残任期間とする。

(会議)

第10条 協議会の会議は、総会、理事会及び部会会議とする。

(総会)

第11条 総会は、本会の最高議決機関であつて、理事及び部会員並びに行政区の班長で構成し規約に定める事項のほか、本会の目的を達成するために、必要な事項を審議決定する。

2 総会は、通常総会及び臨時総会とし、会長が招集する。

3 通常総会は、毎年1回開催し、臨時総会は会長が必要と認めたとき又は、協議会員の3分の1以上の請求があつた場合には、臨時総会を開催することができる。

4 総会の議長は、総会において出席班長のうちから選出する。

5 総会は、委任状を含めた2分の1以上の出席をもって成立し、決議は出席者の過半数の同意をもって行う。

6 総会は、次の事項を審議又は決定する。

(1) 協議会の事業計画及び予算に関すること。

(2) 協議会の事業報告及び決算に関すること。

(3) 協議会の役員の承認に関すること。

(4) 規約の制定及び改廃に関すること。

(5) その他、協議会の運営に関すること。

(総会の議事録)

第12条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

(1) 日時及び場所

(2) 出席者数（評決委任者を含む）

(3) 開催目的、審議事項及び議決事項

(4) 記事の経過の概要及びその結果

2 議事録は、議長及びその会議において選任された議事録署名人2名以上が署名押印し、事務所に備え付けておかなければならない。

(理事会)

第13条 協議会に次の事項を審議及び決定するため、理事会を設置する。

(1) 地域の様々な課題に関すること。

(2) 事業計画及び予算並びに事業報告及び決算に関すること。

(3) やむを得ない事情で総会が開催されない場合、総会機能を代行すること。

(4) 総会の議決を要しない会務の執行に関する事項を議決すること。

(5) 自治センターの運営に関すること。

(6) 顧問の選任に関すること。

- 2 理事会は、協議会の会長、副会長、部会長、行政区長、企画推進委員長及び顧問並びに事務局をもって構成する。
- 3 理事会は、理事を構成する役員の2分の1以上の出席により成立するものとする。
- 4 必要に応じ、理事会に理事構成員以外の協議会員の出席を求め、意見を求めることができる。

(部会)

第14条 協議会に次の部会を設置する。

(1) 総務地域づくり部会

(2) 安全安心部会

(3) 福祉部会

(4) 教育学習部会

- 2 各部会は、所属する団体の代表及び構成員をもって構成する。
- 3 各部会は部会長1名、副部会長1名、部会委員数名を選任する。部会事務局は協議会事務局が兼ねる。
- 4 各部会は、部会に所属する団体間の連携を図りながら運営する。
- 5 各部会は、本会の目的を達成するため、担当する業務について企画、立案、部会の責任のもと遂行する。
- 6 部会で対応するのがふさわしい、地域課題について協議し解決を図る。

(事務局)

第15条 協議会の円滑な運営を行うため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局員を置く。

3 事務局員は、石川町が任命し、庶務、会計を担当する。

また、部会間の調整にあたるなど、会長の補佐を務める。

4 自治センター企画推進員は助言、相談などを通して事務局を支援する。
また、地域の行事の際は、実行委員として協力する。

(経費)

第16条 協議会の運営に要する経費は、町からの交付金、補助金及びその他の収入をもって充てる。

2 会計年度は、毎年4月1日に始まり。翌年の3月31日に終る。

(監査)

第17条 会長は、事業年度終了後、事業報告書及び収支決算書等を作成して監事に提出し、監査を受けなければならない。

2 監事は、前項の書類を受領したときは、これを監査し監査報告書を作成して会長に報告するとともに、会長はその監査報告書を総会に提出しなければならない。

(書類及び帳簿の備付け)

第18条 協議会の事務所には、協議会の事業実施に係る書類、収入及び支出に関する証拠書類並びに帳簿等活動に関する全ての書類を備え付け、公開するものとする。

(個人情報保護の取扱い)

第 19 条 協議会が事業を推進するために必要とする個人情報の取得、利用、提供及び管理については、適正に運用するものとする。

附 則

1 この規約は、平成 31 年 1 月 20 日から施行する。

附 則

2 協議会の設立初年度の会計年度は、第 16 条第 2 項の規定にかかわらず設立した日から平成 31 年 3 月 31 日までとする。

附 則

3 (部会) 第 14 条 協議会の部会を 5 部会から 4 部会に変更の規約は、令和 2 年 4 月 17 日から施行する。

Handwriting practice lines consisting of 20 horizontal dashed lines.